

小品考

204

叙

西村君典

西村君典夙好物產受業于家

君之所好以類多歲之丁巳年四十

二世之孫謂之集也杜門慎密輯

平生所考家之所有許之者數千條

以國字錄其形狀附圖于後名曰小

品考少者編辭言其所考者少也附

法刻刷以公于世多志在除喜也
書成求序于余、家其考之、授
學之方遂為題數言于首、臨書、能
善易、東、感也、安政戊午、梅、月

平安 榕室少本錫夫



男士樓書



小品考目次

米砂

蟋蟀草

紫蘭

金桂

丹桂

秋風子

紫筍

豆腐乾

凍豆腐

豆娘

蝸蟲

黑鰻魚

青蝦

白蝦

赤蝦

長尾雞

白八哥

南翠

水鷺鳥

附錄
翠雲鳥

小品考

勢州相可
西村廣休述

米砂

和名コメズナ

錦繡萬花谷後集袁州米砂鍾山臨水阻峽春夏則湍湫
沸涌瀆上有沙如米兩岸各十餘斛呼曰米砂以之候歲
若一岸偏饒則其方豐穰出安城記

コメズナハ形略白米ノ如シ米砂ナルベシ

蟋蟀草

和名ヲヒジワ

嘉興府志蟋蟀草

昆陽漫錄ニスモトリグサ唐畫ニアレ氏漢名詳ナ
ラザルニ因テ通詞ヲ以テ清人ニ尋シニ雅名コレ
ナク俗ニ蟋蟀草云ト云ヘリトアリ嘉興府志草類
之部蟋蟀草ノ名アリ形狀ナケレ氏淡竹^{ツユクサ}葉ノ次ニ
出タレバ證ースベキカスモトリグサハ即ヲヒジ
ワノフナリ形狀龍爪^{カモベタキビ}栗ニ似テ小ニシテ路傍ニ多
シ

紫蘭

和名ベニコブシ

本草彙言辛夷條、白者呼爲玉蘭、紫者呼爲紫蘭、

ベニコブシハ形狀玉蘭^{ハクモクレン}ト同シテ花瓣外紅紫色ナ
リ諸書ベニコブシヲ辛夷トスル說徃徃出タリ

金桂

時珍食物本草桂花條、黃者名金桂、

桂花^{モンセイ}ノ中ニ花ヲ開テ始ヨリ黃色ナルモノアリ香
氣甚シコレ金桂ナリ

丹桂

同書同條、紅者名丹桂、

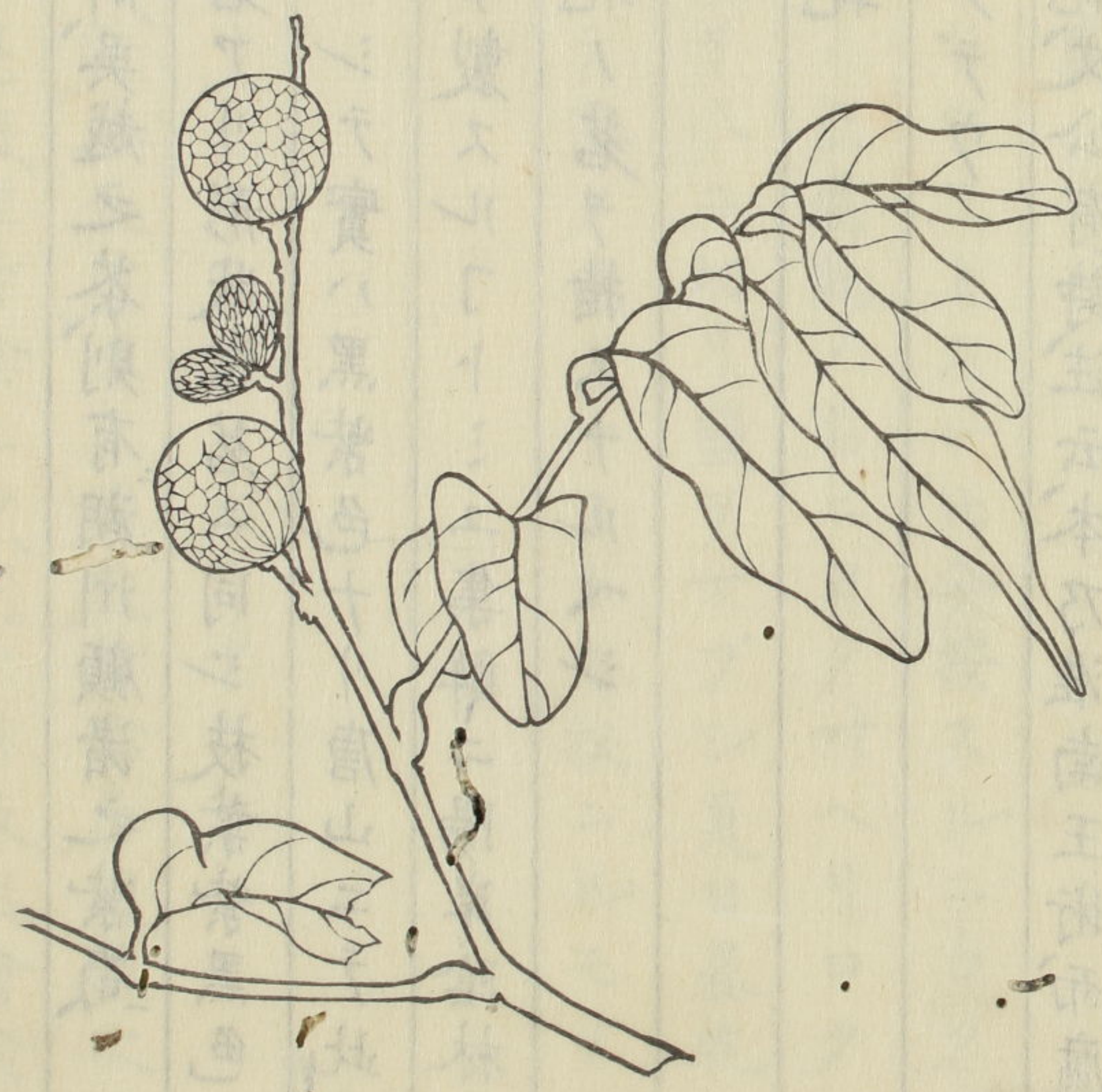
桂花ノ中ニ花ヲ開テ始黃色ニシテ後赭黃色ナル

モノアリ先輩金桂ニ充レドモ此物ヲ丹桂トスベ

秋風子

粵東皇華集龍目、以初秋熟、得金氣、故色黃、最大者孤圓、
小者蜜糖、□遲者秋風子、每一年多一年、以歌又名養樹、
何意親來比目旁、峽山寺裏味初嘗、老僧指點秋風子、
中有仙人白玉漿、

龍目ハ龍眼ノ一名ナリ近年所々ニテ花咲キ實ヲ
結ブイヅレモ晚秋初冬ノ比熟ス即秋風子云モノ
コレナリ



紫筍

本草綱目茗集解、吳越之茶、則有湖州顧渚之紫筍、近年紅花ノ茗アリ形狀常茗ニ同ジ枝葉紫黑色ヲ帶ブ花淡紅ニシテ實ハ黑紫色ナリ唐山ニテ此芽ヲ以テ紫筍ヲ製スルトミユ集解ヲ陽岸陰林紫者上云モ紅花ノ茗ヲ指スナルベシ

豆腐乾

一名腐乾

和名ロクデウ

建陽縣志、豆腐乾、文公有詩、注云、本乃淮南王術、而腐乾

本色者佳、異于他處、

舊說ニコバリドウフトスレ氏今按スルニロクデウト稱スルモノ豆腐乾ノ名ニヨク叶ヘリロクデウハ豆腐一挺ヲハニ切り鹽ヲマブシ夏日暴乾スルコ久シクシテ堅ク音ヲナストキ収ムルモノナリ

凍豆腐

和名コバリドウフ

醒園錄、凍豆腐法、將冬天所凍豆腐放背陰房內、候次年冰水化盡、入大磁甕內、埋背陰土中、到六月取出會食、真

佳品也、

コバリドウフハ紀州高野山ノ名物ナリ製法ハ和

漢異ナレ氏凍豆腐トスベシ

豆娘

一名豆娘子

和名カゲロフ コトンボ

芥子園畫傳豆娘、有圖

疆識略、豆娘子、蜻蜓之細也、

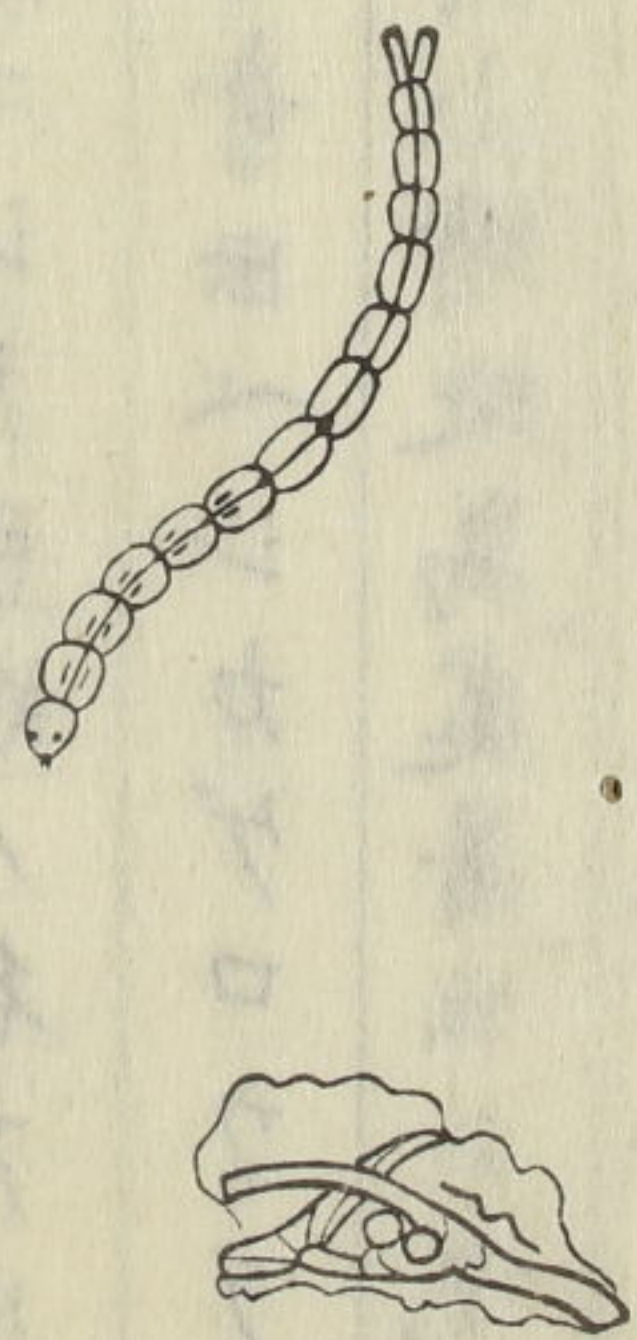
カゲロフハヤナギデヨラウノ類ニシテ甚細ク小
ク翅ハ透明ス品類多シ夏秋葉上ニ飛ブモノナリ

此物ヤナギ女郎ノ類ニシテ豆娘ノ名アルモ和漢
似寄タル見立ナルヲ奇伝ベシカゲロウヲ古人五
雜組ニ北人指七月間小蜻蜓爲處暑伝ニ充ツレ氏
カゲロフハ處暑ノ比ニ限ラズ夏秋アルモノ故我
師亡羊先生精靈^{シヤウリヤウ}トンボヲ以テ處暑トシ給ヘリ精
靈^{ムギワラトンボ}トンボハ胡黎ニ似テヤ、小ニシテ身茶褐色翅
白ク透明シテ翅ノ本ニ茶褐ノウツリアリ處暑ノ
比極テ多ク出ヅルモノナリ故ニ精靈トンボ伝カ
ゲロフヲ豆娘トスルハ桐谷氏ノ品物考證ニモ此
説アリ愚考ト暗合ス

蝸蟲

雞跖集、蓴入七八月不中食、有蝸蟲故也、至十月冰凍蟲死、雖老猶可食、

蓴菜ノ凝脂ノ中ニ水蛭ノ如キ甚微細ノ小蟲アリ、顯微鏡ヲ以テコレヲミレバ最可惡蟲ナリ、湖水又清潔ノ池ノ蓴菜ニハ此蟲ナシ



黑鰻魚 鰻琉球國志略作鰻

和名マグロ

中山傳信錄、佳蘇魚、本名黑鰻魚、大者長八九尺、圍尺許、割其肉爲腊、

琉球國志略、佳蘇魚、馬又魚脊爲之、徐錄云、削黑鰻魚肉乾之、非、

マグロハ形狀人ノ知ルトコロナリ、傳信錄ニ黑鰻魚大者長八九尺、圍尺許、伝ニ能合ス、海腊補疏ニ嘉酥魚海中魚之極大者、重千斤、伝嘉酥魚ハ馬又魚ニシテカツナレ、氏極大者重千斤、伝ハマグロヲ

混同セシトミユ

青蝦 白蝦 赤蝦

寶山縣志蝦有青白赤三種海邊人晒爲蝦尾最佳

海蝦ニ勢州方言アヲエビ伝アリ小蝦ニシテ青緑

色ナリ青蝦伝ベシ又方言シラエビ伝アリコレモ

小蝦ニシテ白色尾微赤シ白蝦伝ベシ又方言アカ

エビ伝アリコレモ小蝦ニシテ淡紅色ナリ赤蝦伝

ベシ晒爲蝦尾トアレバ皆小蝦ナルヲ知ルベシ又

河蝦ニ青^{カハエビ}蝦^{シラエビ}白蝦アリコレハ本草ノ青蝦白蝦ニシ

テ海産ノモノト別ナリ

長尾雞

一名細尾雞

和名サバナミ シノハラタウ

魏志朝鮮有長尾雞尾細而長三尺

同書馬韓國出細尾雞其尾皆五尺餘

土州ニテサバナミ又篠原タウト云形狀常雞ニ同

シテ尾甚長ク垂ルヲ三尺或五尺許奇ナルモノナ

リ又白者アリシラフヂト云其尾長ク垂レテ銀^{シラ}藤^{フヂ}

ニ似タル故ニ名クナルベシシラフヂ漢名銀藤ハ

平湖縣志ニ見エタリ

縮圖



白八哥

和名ナルテンチイ

百鳥圖贊白八哥、有圖龍眠張廷玉贊自昔太始有三季、
白鸚鵡向京兆集禽鳥應瑞非偶然、宋書所紀真特筆或
云此鳥亦恒有、庶物志載嶺南出、縞衣皎潔無塵滓、淡粧
儘可誇顏色、世間黑白不分明、彼此相較白勝黑、
セウ國ノ内センホンノ産ノヨシニテマルテンチ
イ云鳥アリ全身白ク目邊黄ニシテ嘴淡緑翅及尾
黒ク脚淡褐ナリ



縮圖

南翠

百鳥圖贊、南翠、有圖張廷玉贊、翠奴名久喚、毛羽惹人憐、
栖息蘭苔畔、飛鳴蘆葦邊、影分山黛綠、色映水光妍、心羨
魚堪啖、臨淵未肯還、

此鳥薩州宇治島ニアリ、カハセミ魚狗ノ類ニシテ大ナリ
別ニ名アルヲ聞カズ才ホカハセミト唱フベシ
頭及翅ノ本黒ク背翅尾共ニ碧ク胸白ク腹淡茶ニ
シテ嘴脚赤シ

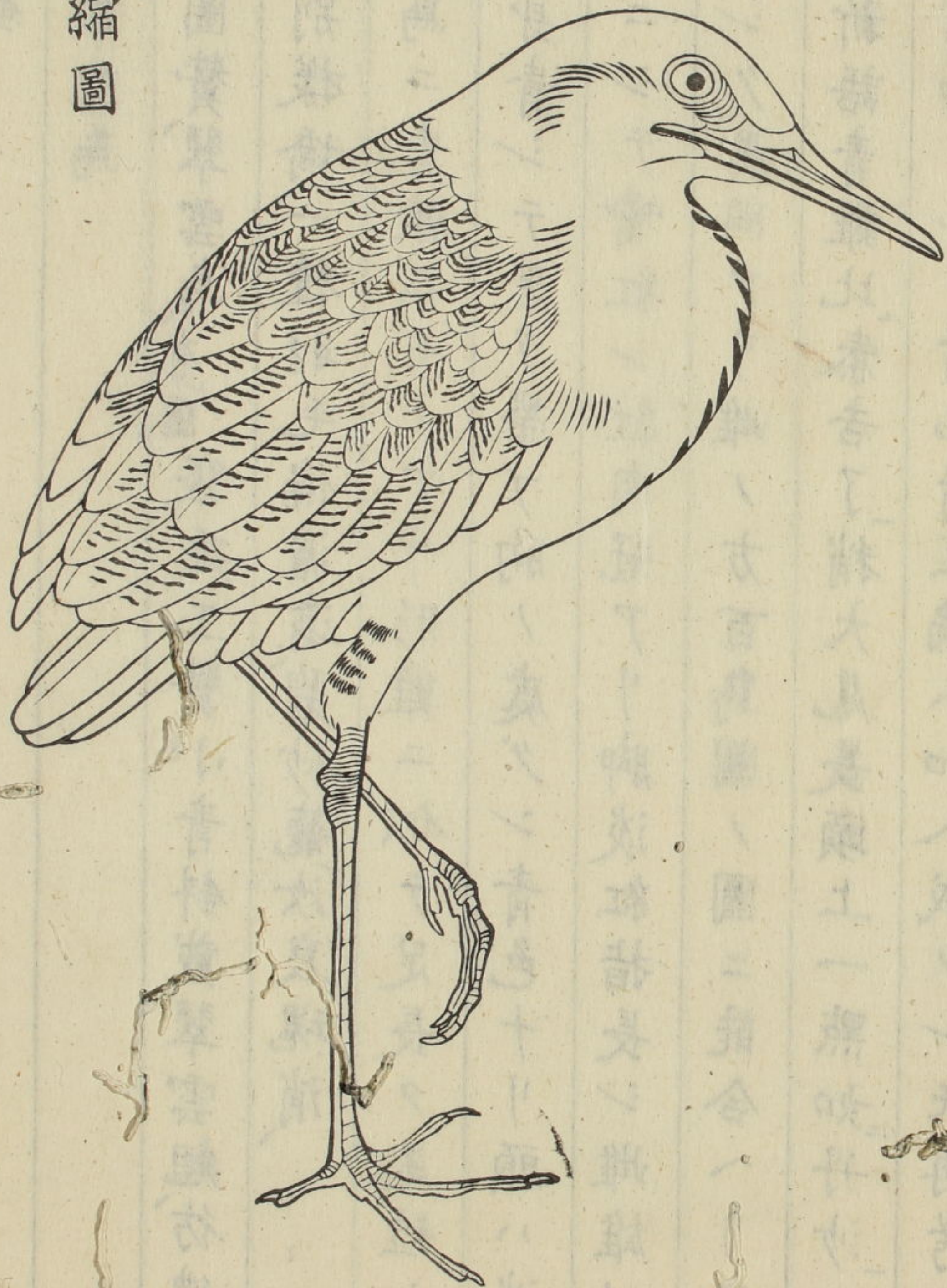


水鷺鳥

百鳥圖贊、水鷺鳥、有圖、鄂爾泰贊、日映斑斑、文彩明、一庄
貪向水邊行、每逢欲雨天、陰黑鳴動、時聞沃沃聲、

ミトゴ井ノ一種ニ形ヤ、大ニシテ頭茶背茶ニ淡
黒ヲ帶ブ翅ハ色薄シ腹黃嘴淡青黒脚緑ナリ此鳥
ノ和名未ダキカズ

縮圖



附録

翠雲鳥

百鳥圖贊、翠雲鳥、有圖張廷玉贊、小青斜戴翠雲翹、彷彿湘妃別樣嬌、一種羽毛偏澹遠、碧紗籠汝哀魂消、

唐鳥ニ青雞伝モノアリ形雞ニ似テ足長ク尾短シ
全身青シテ黒ヲ帶ブ胸ノ處グン青色ナリ頭ハ淡
褐ニシテ嘴紅シ紅肉冠アリ脚淡紅指長シ雌雄形
少シク異同アリ雌ノ方百鳥圖ノ圖ニ能合ヘリ
東新語青雞比秦吉了稍大尾長頭上一点如丹沙伝
モ同物トシテ百品考三編へ加入成タレ氏再考ル

二尾長伝文ニ合ハズ故ニ今此ニ附録ス

雌



二三月間文之鳥ハ其ノ足ノ下ニ山ノ形ヲ執ル

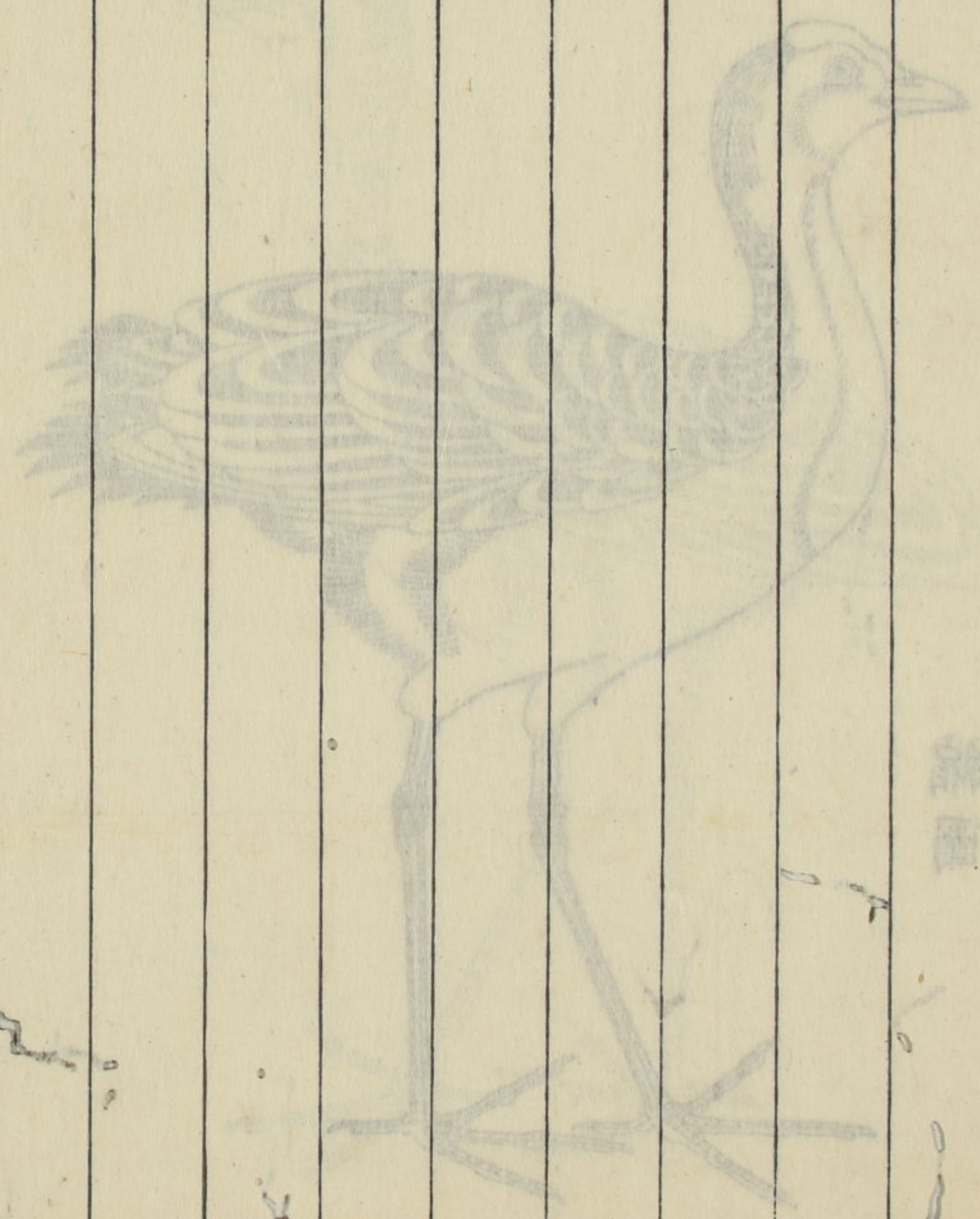
雄



縮圖

小品集

小品考終



安政六年己未七月

雙松軒藏板

書林

京
三條通柳馬場東
北村屋太助

大坂
心齋橋筋安堂寺町
秋田屋太右衛門

勢州津山
立町
形屋傳右衛門

江戸
日本橋壹町目
須原屋茂兵衛

大九

